

第4回 高崎学検定

平成28年10月29日（土）実施



— 問題と解説 —

問 1

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

江戸期には森林は貴重な資源であり、木材は建材や日用品の加工部材、薪や炭などの燃料として活用されました。一方で、木々の一本一本は文書によって管理されていました。

さて、現在の榛名山中腹の樹木は、多くがクリ・コナラなどの二次林や、スギ・ヒノキが植栽された人工林です。しかし榛名神社の境内地とその付近には、自然林が残されているとされます。そのうち、神社の参道にある矢立スギ（高さ55メートル、樹齢400～500年）は、【 】による戦勝祈願の伝承で知られる古木で国指定天然記念物になりました。

- (1) 里見義俊 (2) 新田義貞 (3) 足利尊氏 (4) 武田信玄
〔正解 4〕

●解説

榛名山の高崎市域（倉渕地区・榛名地区・箕郷地区）にあたる南麓の森林において、シラカシ・ブナ・モミ・ケヤキ・ヒノキ・アカマツなどの自然林（原植生）の割合は少なく、そのほとんどは、二次林と人工林によって占められています。後者は人間活動による影響（攪乱）を受けた代償植生とよばれるもので、中でも二次林は、クヌギ・コナラ・クリ・ミズナラなどで、特にコナラは薪炭用の原材料として利用されました。また、人工林（植林）は、スギ・ヒノキ・カラマツなどで構成され、かつてはさかんに建材として利用されました。

一方で、榛名神社付近にはわずかに自然林が残され、境内のヒノキ林は貴重な山地針葉樹林となっています。そして、神社参道のスギ並木の中でも巨大なものが「矢立スギ」で、御手洗場の向かいに所在しています。樹高5.5メートル、樹周9.4メートル、樹齢400～500年ほどと推定され、西毛地域に侵攻していた武田信玄が、戦勝を祈願して矢立（樹木に矢を射て神意を占う儀式）をしたという伝承があります（国指定天然記念物）。

問 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名神社の参道のまち並みは社家町しゃけまちと呼ばれています。社家町には、【ア】が連なり、明治時代初めには、100軒ほどあったとされています。現在は十数軒に減少してしまいましたが、古くから伝わる屋号の看板が掲げ

られ、風情のある景観を形成しています。

こうした社家町の施設では、訪れた人へのおもてなしに、古くから【 イ 】が出されていました。現在、【 イ 】の原料となる農産物は、榛名地域に伝わる希少種とされ、社家町では収穫の季節にあわせてイベントを開催するなど、まちづくりに取り組んでいます。

- ア (1) 寒冷な気候を生かした酒蔵 (2) 参拝者が宿泊する宿坊
(3) 榛名湖温泉の湯治場 (4) 和菓子屋

〔正解 2〕

- イ (1) おつきりこみ (2) そば (3) たくあん (4) もち
〔正解 2〕

●解説

榛名神社の鳥居前には、古くから修験者が宿泊する宿坊が並び、社家町が形成されていました。江戸時代後期になると一般の参拝者も大勢訪れるようになり、信者による「榛名講」も誕生しました。宿坊は参拝者に使われ、そばがふるまわれたということです。

現在、宿坊には往時のように屋号を記した看板が掲げられ、歴史的景観が再現されています。11月には「新蕎麦まつり」が行われ、榛名産の希少種を原料としたそばを名物料理として提供しています。

問3

次の文章のうち、【ア】～【オ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上毛三山の一つ、榛名山は、【 ア 】である榛名湖と掃部ヶ岳^{かもんがだけ}や天目山などの外輪山のほか、榛名富士をはじめとする複数の溶岩ドームからなる複式火山です。

南西麓に位置する榛名神社は、古くから山岳信仰の霊場として、多くの参拝者を集めました。境内には、多くの文化財がありますが、本年9月、県内で唯一現存する木造塔婆建物である【 イ 】(神宝殿)が新たに群馬県指定重要文化財になりました。

上毛かるたの読み札「登る榛名の【 ウ 】」でも有名な県立榛名公園は、もと御料地でしたが、昭和天皇の【 エ 】を記念して、1924(大正13)年、群馬県に払い下げられ、群馬県で設置された初めての県立公園です。四季を通して、キャンプやハイキング、ボート、ワカサギ釣りなど多くの観光

客に親しまれています。

毎年【 オ 】に開催される榛名湖イルミネーションフェスタには、県外からの来場者も多く、10万人を超える来場者で賑わう全国有数のイルミネーションとして、来場者を楽しませています。

- ア (1) 火口原湖 (2) 火山堰止め湖
(3) 人造湖 (4) 断層湖

〔正解 1〕

- イ (1) 二重塔 (2) 三重塔 (3) 五重塔 (4) 七重塔

〔正解 2〕

- ウ (1) キャンプ村 (2) 紅葉狩り
(3) 遊覧船 (4) ロープウェイ

〔正解 1〕

- エ (1) 誕生 (2) 行幸 (3) 成婚 (4) 即位

〔正解 3〕

- オ (1) 1月 (2) 3月 (3) 8月 (4) 12月

〔正解 4〕

●解説

榛名山は、約50万年前から始まる火山活動により、火口原湖である榛名湖のほか、複数の外輪山と溶岩ドームなど、多くの峰からなる山です。榛名山は、古来、山岳信仰の対象とされ、南西麓に位置する榛名神社は、延喜式に記載のある上野国十二社の一つ（式内社）です。榛名神社には、多くの貴重な文化財があり、国指定重要文化財として「社殿（本社・弊殿・拝殿）」をはじめとする6棟の建物、国指定天然記念物として「矢立スギ」があります。1866（慶応2）年に着工し、1869（明治2）年に竣工した三重塔は、建築中の1868（慶応4）年の神仏分離令で廃仏毀釈運動が起こると、上二重を除去するよう指示が出されますが、取り払われることなく、以降は神宝殿と呼ばれ、現在に至っています。この三重塔（神宝殿）は、県内に唯一現存する塔婆建物であることや、神仏分離令による廃仏毀釈の実態が窺える建築であることなどが評価され、本年9月、群馬県指定重要文化財になりました。このほかにも、多くの県指定文化財、市指定文化財があり、見所がたくさんあります。また、近年では、群馬のパワースポットとしても有名です。

県立榛名公園は、1924（大正13）年に、昭和天皇の御成婚を記念し、御料地の払い下げを受けて設置された県立公園です。公園区域は、榛名山頂の榛名湖を含む395ヘクタールで、おおむね榛名山外輪山の内側となっています（国有林である榛名富士、榛名湖西側一帯及び商店街部分の民有地を除く）。ミズナラ、カシワ、レンゲツツジ、ユウスゲなどの植物が多く見られ、特に、ニッコウキスゲに似た高山植物、ユウスゲの群生地は榛名山の見所の一つで、

夏の夕暮れになると薄黄色の花を沼ノ原の草原一帯に咲かせます。また、レンゲツツジも沼ノ原を中心に群生しています。

問 4

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

2015（平成27）年度に八幡霊園拡張に伴う発掘調査で、若田坂上遺跡から弥生時代後期の人形土器の頭部2点が出土しました。2点まとめて出土したのは全国でも初めてになります。このような人形をした土製品は古墳時代では人物埴輪がありますが、山名原口Ⅱ遺跡の1号墳では、全国的にも類例の少ない石製の【 】のある人物埴輪が出土しました。

- (1) 鼻 (2) 耳 (3) 目 (4) 歯

〔正解 4〕

●解説

古墳に邪霊が入り込むのを守る役目があるといわれる人物埴輪は、通常、顔には目・鼻・口・耳の表現がされます。山名原口Ⅱ遺跡の1号墳出土の歯のある人物埴輪のように石で歯が表現された例は非常に少なく、貴重な資料となっています。

弥生時代後期の人形土器が出土した若田坂上遺跡がある台地上には縄文時代から多くの遺跡があり、南に1キロメートル程の場所には、観音塚古墳などの大型古墳も点在しています。また、八幡霊園建設に伴って1970（昭和45）年から1973（昭和48）年に発掘調査され、群馬県指定史跡になっている若田原遺跡群もあり、縄文時代から奈良時代の住居跡や5基の古墳が確認されています。そのうち、床面に石が敷かれた縄文時代中期の敷石住居と古墳3基が八幡霊園内に保存されています。

問 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

日高遺跡は、1977（昭和52）年に【ア】建設工事の際発見された遺跡です。

この遺跡は静岡県登呂遺跡で弥生時代の稲作跡が確認されて以来、東日本ではじめて同時代の水田、【イ】集落跡、墓地跡など、当時の生活全体

の痕跡がそろった貴重な遺跡として国指定史跡になりました。

水田では、榛名山南麓の湧水を利用して稲作を営んでいましたが、遺跡はその後3世紀後半には浅間山、6世紀には榛名山二ツ岳付近の噴出物、更に平安時代末期や江戸時代には再び浅間山の噴出物が堆積するなど、たびたび火山災害にあいました。

- ア (1) 両毛線 (2) 上越新幹線
(3) 高前バイパス (4) 関越自動車道

〔正解 4〕

- イ (1) 環濠 (2) 高地性 (3) 平地 (4) 丘陵上

〔正解 1〕

●解説

日高遺跡は、1977(昭和52)年に発見され、遺跡部分は工事変更され高架橋下に保存されています、その後高崎市が周辺の調査や整備を進め、一部が昨年「史跡日高遺跡」として利用できるようになりました。

遺跡は、静岡県登呂遺跡で稲作生産が確認されて以来、東日本ではじめて弥生時代の水田跡が見つかったことや集落跡、墓地跡などが一体的にある貴重な遺跡で史跡に指定されました。出土品も多く、土器や木器の他、靱も出土しています。

日高遺跡の水田は、榛名山南麓の湧水を利用して稲作農業を営んだ人々の遺跡ですが、その後3世紀後半には浅間山の火山噴出物、6世紀には榛名山二ツ岳付近の火山噴出物、更に平安時代末期や江戸時代には再び浅間山の噴出物が堆積するなど、たびたび火山災害にあいました。しかし、この地の人々はその都度工夫して現在まで生活してきました。

問6

次の文章のうち、【ア】～【オ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】の建設工事に伴う事前調査で発見された三ツ寺Ⅰ遺跡から、古墳時代の豪族の居館跡が見つかりました。居館の本体は一辺が約【イ】メートルの正方形で、これにいくつもの張り出し部が設けられていましたが、その面積は南小学校の校庭とほぼ同じ広大なものでした。また、居館の周囲は幅30～40メートルの濠で囲まれており、近くを流れる【ウ】から水を引いていたことが分かりました。

5世紀の後半に築造されたものと考えられることから、この居館の主は同じ時期に築造された、北西1キロメートル程のところにある【エ】に葬

られた豪族であると推定されています。

また、冷水町には三ツ寺Ⅰ遺跡と類似した【 オ 】がありますが、その重要性から国指定史跡になりました。

- ア (1) 上越新幹線 (2) 西毛広幹道
(3) 県道安中前橋線 (4) 高渋バイパス

〔正解 1〕

- イ (1) 46 (2) 86 (3) 126 (4) 206

〔正解 2〕

- ウ (1) 井野川 (2) 烏川 (3) 猿府川 (4) 碓氷川

〔正解 3〕

- エ (1) 保渡田古墳群 (2) 若田古墳群
(3) 八幡古墳群 (4) 御部入古墳群^{おんべいり}

〔正解 1〕

- オ (1) 熊野堂遺跡 (2) 同道遺跡^{どうどう}
(3) 井出村東遺跡 (4) 北谷遺跡^{きたやつ}

〔正解 4〕

●解説

三ツ寺Ⅰ遺跡は上越新幹線の工事に先立って実施された発掘調査によって発見された豪族の居館跡と考えられる遺跡です。

居館の本体部は一边86メートルの正方形を基本とし、これにいくつもの張り出し部が設けられています。高さ1メートルほどの盛り土によって整地された本体部は周囲を幅30メートル、深さ3.5メートルの大きな濠が巡り、三重の柵によって厳重に囲まれた内部は中央に設けられた柵列により南北二つの区画に分割されています。柵列には板塀が張られていたと推定されることから、居館の内部を外から遮るとともに、南北二つの区画もしっかりと遮断されていたことが分かります。

二つに仕切られた区画の内、南側には正殿と考えられる大規模な掘立柱建物跡、水路、石敷の祭祀遺構、井戸などがあることから、政治や祭祀を行っていた公的な場所であると考えられます。これに対し、北側からは竪穴住居跡が複数検出されたことから、日常生活を営む私的な居住空間であったものと考えられます。また、濠の斜面には石垣が築かれていましたが、ここには近くを流れる猿府川を堰き止めて水を引き込んでいたようです。

居館跡は堆積していた火山灰や一緒に出土した土器などから、5世紀後半に築造されたと考えられています。しっかりした設計に基づいた大規模な土木工事であったこと、濠を周囲に巡らし、その斜面には石垣が積まれるなど古墳との関連性が指摘されること、北西に1キロメートルという至近距離にある保渡田古墳群も5世紀後半を中心に築造されたと考えられることなど

から、この居館跡の主は保渡田古墳群に葬られた豪族であったものと推定されています。

三ツ寺Ⅰ遺跡における豪族の居館跡の調査はそれまで認知されることのなかった居館の存在に研究者の目を向けさせることになり、過去の調査も含め、全国各地で類似する遺跡の発見例が相次ぎました。まさに我が国の考古学史に新たな知見をもたらすことになった世紀の大発見でした。

北東3キロメートルのところにある北谷遺跡^{きたやつ}は開発に伴う事前調査により、三ツ寺Ⅰ遺跡と類似した居館跡であることが確認されましたが、規模や形態が類似していることから共通の規格で築造されたものと考えられています。2005(平成17)年、その重要性から国の指定史跡となりました。現在、指定地の買い上げが進められています。

問7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市綿貫町にある【ア】頃の国指定史跡観音山古墳は、墳丘の長さだけで97メートルある大型前方後円墳です。墳丘上からは形象埴輪や円筒埴輪、石室内からは優れた金工品などが多数出土しました。その中には、韓国百済の王陵からの出土品と同じ中国後漢時代の【イ】や、中国北斉時代の墓から出土したものと類似した銅製水瓶などがあり、古墳埋葬者の力や大和朝廷、東アジアとのつながりを示す証として注目されています。

- ア (1) 4世紀後半 (2) 6世紀後半
(3) 8世紀 (4) 9世紀

〔正解 2〕

- イ (1) 馬具 (2) 兜^{かぶと} (3) 太刀^{たち} (4) 鏡

〔正解 4〕

●解説

高崎市綿貫町にある史跡観音山古墳は、群馬県を代表する6世紀後半の古墳の一つです。墳丘の長さだけで97メートルある大型前方後円墳で墳丘上からは形象埴輪と円筒埴輪が多数出土しました。

横穴式石室壁面には、榛名山から利根川に流れ出た角閃石安山岩、天井石には鮎川流域大型扁平の牛伏砂岩、入り口には烏川の安山岩を使用していま

す。

石室内の出土品には、優れた金工品などが多数ありましたが、韓国百済の武寧王陵出土と同じ系統の中国後漢時代の鏡や、中国北齊時代の庫狄廻洛墓（墓誌562年）から出土した金銅製細頸瓶と類似した銅製水瓶など大和朝廷との深い関わりや東アジアとのつながりを示す出土品が多数含まれています。

問 8

次の文章を読んで、【ア】、【イ】の質問に適するものは、選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市内には、古代の碑が山名町に金井沢碑、山上碑、吉井町池に多胡碑があり「上野三碑」と呼ばれ、ともに国指定特別史跡になりました。

「上野三碑」は、2015（平成27）年には「世界の記憶」の国内候補に選ばれ、現在「世界の記憶」の登録を目指しています。

ア 上野三碑に刻まれた年代をもとに古い順のものは次のどれでしょうか。

- (1) 金井沢碑→山上碑→多胡碑
- (2) 多胡碑→金井沢碑→山上碑
- (3) 金井沢碑→多胡碑→山上碑
- (4) 山上碑→多胡碑→金井沢碑

〔正解 4〕

イ 群馬の県名に繋がる「群馬郡」の文字が刻まれているのはどの碑でしょうか。

- (1) 金井沢碑 (2) 山上碑
- (3) 多胡碑 (4) 金井沢碑と多胡碑

〔正解 1〕

●解説

高崎市内には、古代の碑が山名町に金井沢碑、山上碑、吉井町に多胡碑があり「上野三碑」と呼ばれ、ともに国特別史跡に指定されています。

「上野三碑」は、2015（平成27）年には「世界の記憶」の国内候補に選ばれ、「世界の記憶」の登録を目指しています。

問 9

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

多胡郡は、多胡碑や続日本紀の記載などから711（和銅4）年に新たに建郡されたことが知られていますが、郡の中心となる建物の位置や規模についてはわずかに残る記録史料があるのみで推測の域をでませんでした。

多胡碑真南にあたる吉井町池の岡地区では、高崎市が進めている近年の調査で、郡の中心となると見られる屋根瓦を葺き大型礎石列を持つ【 】と見られる建物跡や区画溝、焼き米などが出土し、しだいに施設が集中する地域が絞り込まれてきています。

- (1) 土蔵 (2) 郷蔵 (3) 正倉 (4) 板倉

〔正解 3〕

●解説

古代日本は、701（大宝元）年の大宝律令で国・郡・里の三段階に行政組織を編成して地方を治めていました。

多胡郡は、多胡碑や続日本紀の記載などから711（和銅4）年に新たに建郡されたことが知られていますが、郡の中心となる建物の位置や規模についてはわずかに残る記録史料があるのみで推測の域をでませんでした。

高崎市が進めている多胡碑真南の吉井町池の岡地区では、近年の調査で郡の中心となると見られる屋根瓦を葺いた大型礎石の列や多数の古代瓦集積地、区画溝、焼き米などが出土し、しだいに施設が集中する場所が絞り込まれてきています。

問 10

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

奈良時代、聖武天皇は仏教の力を得て国を治めようと諸国に国分寺の造営を命じました。

上野国分寺は、750年頃には主な建物が建てられたと見られていますが、出土した【ア】に記された地名から、県内各地の協力の下で建造されたと考えられています。

建造物はすでに失われていますが、旧地形や金堂跡、【イ】塔跡の基壇・礎石、築垣の一部が復元されガイダンス施設も設けられています。

ア (1) 瓦 (2) 柱 (3) 鴟尾^{しび} (4) 相輪^{そうりん}

〔正解 1〕

イ (1) 三重 (2) 四重 (3) 五重 (4) 七重

〔正解 4〕

●解説

奈良時代天皇は仏教の力を得て国を治めようと諸国に国分寺の造営を命じました。

上野国分寺は、750年頃には主な建物が建てられたと見られていますが、屋根に葺かれた瓦に記された地名から、県内各地の協力の下で建造されたと考えられています。

建造物はすでに失われていますが、旧地形や金堂跡、七重塔跡の基壇・礎石、築垣の一部が復元されガイダンス施設も設けられています。

なお、近年の再調査により、金堂跡とされていたところが講堂跡である可能性が出てきました。

今後の調査により、当時の姿が明らかになってくると思われます。

問 1 1

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

榛名山麓にある長谷寺は、坂東三十三観音第15番札所で地名から【 】観音と呼ばれています。本尊の十一面観音立像は平安時代中期の作と推定され、群馬県内最古ともいわれ群馬県指定重要文化財になりました。

(1) 権田 (2) 里見 (3) 白岩 (4) 引間

〔正解 3〕

●解説

長谷寺は、「長谷寺縁起絵巻」に朱鳥年間（686年～696年）の開基と伝えられる古刹で、坂東三十三観音の群馬県内札所2カ所の一つになっています。本尊の十一面観音は平安時代中期の作と推定され、県内最古ともいわれ、像の丈は186センチメートル、総丈は230センチメートル、カヤ材の一本割^{わり}矧^はぎ造り（造像技法の一つ）木像素木立像です。

鎌倉時代の作と推定される前立像は、像の丈が185センチメートル、総丈が270センチメートル、寄木木彫金箔立像で、両像とも群馬県指定重要文化財になりました。

問 1 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

平安時代末期、各地で武士団が成長しました。市内では、秩父平氏系児玉党の大類氏や倉賀野氏が、清和源氏系新田氏は、新田義重の子義俊が【ア】に、同じく義重の子義範が山名を拠点にして勢力を拡大しました。なかでも新田一族の拠点の一つになった八幡荘は、新田義貞の鎌倉攻めに際し宿営し軍勢を整えた地であり、源氏の守護神を祀った【イ】が早くからありました。

ア (1) 多胡 (2) 室田 (3) 里見 (4) 浜川

〔正解 3〕

イ (1) 八幡八幡宮 (2) 諏訪神社
(3) 榛名神社 (4) 日枝神社

〔正解 1〕

●解説

東毛の新田荘を拠点にしていた新田氏は平安時代末期には西毛にも進出し、高崎市西部の地域を重要拠点とし、八幡八幡宮には源頼朝、新田義貞が祈願したことが伝わっています。江戸時代には、板鼻に和算家小野栄重が在住し、多くの門下を育てた事もあって八幡宮には算額が奉納されており、現存している3点が群馬県指定重要文化財になりました。

問 1 3

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

戦国時代に活躍した長野氏は箕輪城を築城したことが知られていますが、その一族は厩橋城や大胡城も拠点にしていました。このほか、長野氏が15世紀末頃に築城した城には【 】があります。

(1) 山名城 (2) 根小屋城 (3) 鷹留城 (4) 高崎城

〔正解 3〕

●解説

長野氏一族が築城した箕輪城や厩橋城は、長野氏が滅んだ後は、城主が何度も変わり、最終的には徳川氏の城として使われます。その結果、何度も改修され、現在見える城の姿は、そうした改修結果を示しているものです。一方、下室田町にある鷹留城は長野氏が滅んだ後、他の大名が入っていないため、長野氏の築城技術を知るうえで貴重な史跡になっています。

問 1 4

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

1598（慶長3）年に箕輪城を廃城にして、和田城があった地に築城されたのが高崎城です。築城にあたって、箕輪城の大手門は高崎城槻木門に移築されたといわれますが、縄張（郭の配置）などにも箕輪城の影響がみられます。特に、高崎城本丸の堀を隔てた東側の梅ノ木郭は箕輪城の【 】と同じような形をした郭でした。

- （1）本丸 （2）三の丸 （3）郭馬出^{かくうまだし} （4）蔵屋敷

〔正解 3〕

●解説

馬出は、四方を堀や土塁で囲い、内側の城兵の動きを見えなくして、出撃をしやすいようにした場所です。箕輪城の郭馬出は郭のように大きいため郭馬出と呼ばれています。この馬出の唯一の出入口になる郭馬出西虎口門は、発掘調査の結果に基づいた復元工事が行われ、2016（平成28）年11月に完成しました。

井伊直政が高崎城を築城するにあたっては、箕輪城を参考にしたといわれ、梅ノ木郭以外にも二の丸東側の馬出は箕輪城本丸南側の曲尺馬出と共通する郭の形をしています。

問 1 5

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

1590（天正18）年、豊臣秀吉は、小田原城を本拠におく後北条氏が大名家間の私戦を禁じた天下惣無事令を無視して真田領の名胡桃城^{なぐるみ}を落としたことに対しての征討軍をおこしました。碓氷峠からは、上杉景勝^{うえすぎかげかつ}、前田利家^{まえだとしいえ}、【 】の連合軍が進軍し、最初に松井田城を落とし、その後、箕輪城に進軍して落城させました。

- （1）真田昌幸^{さなだまさゆき} （2）徳川家康^{とくがわいえやす} （3）伊達政宗^{だてまさむね} （4）石田三成^{いしだみつなり}

〔正解 1〕

●解説

箕輪城では1587（天正15）年に、秀吉の来襲に備えた普請（改修）が行われていますが、1590（天正18）年、松井田城が4月20日に落城すると、箕輪城は4月24日に城内の裏切りによって城代が追い出されました。豊臣秀吉は真田昌幸らに箕輪城にあった玉薬・武具・兵糧を請け取るように命じています。秀吉は、その後小田原城を7月5日に開城させ、全国統一を果たします。その結果、関東には徳川家康が配置され、箕輪城には家康家臣の中では最高石高の12万石で、井伊直政が城主になりました。

問 1 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸幕府第五代将軍徳川綱吉の【ア】に登用された高崎城主【イ】は、5万2千石の大名に出世できたことは先祖のおかげであると、遠祖である源頼政を祀る頼政神社を建立し【ウ】を奉納しました。これは高崎市指定重要文化財になりました。

ア （1）大目付^{おおめつけ} （2）勘定奉行 （3）寺社奉行 （4）側用人^{そばょうにん}
〔正解 4〕

イ （1）安藤重博^{あんどうしげひろ} （2）堀田正俊^{ほったまさとし}
（3）松平（大河内）輝貞^{まつだいら おおこうち てるさだ} （4）柳沢吉保^{やなぎさわよしやす}
〔正解 3〕

ウ （1）大鎧 （2）白銀造太刀^{しろがねづくり} （3）絵馬 （4）和歌十卷
〔正解 2〕

●解説

松平（大河内）輝貞は、1692（元禄5）年に壬生（現栃木県壬生町）3万2千石の城主となり側用人に登用されました。同8年に加増されて5万2千石の高崎城主になると、出世できたのは遠祖源頼政の加護であると考え、実兄信輝が古河城内に頼政神社を創建したことに倣い、高崎城鬼門寺の石上寺境内に頼政堂を建立しました。その際に白銀造太刀を奉納しました。輝貞が一時期村上へ転封され、再度高崎城主になると現在地に頼政神社を遷座しました。

問 1 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城は城全体ではおよその面積が5万1600坪(170, 280平方メートル)ほどあり、そのうち3万4800坪(114, 840平方メートル)をも有した三ノ丸の広大さが特徴の一つに挙げられます。この三ノ丸と城下の寺院は、【ア】の時に【イ】が率いる3万といわれる大軍が3日間滞在できた程の広さでした。

- ア (1) 大坂夏の陣 (2) 小田原征伐
(3) 関ヶ原の戦い (4) 天目山の戦い 〔正解 3〕

- イ (1) 上杉景勝 (2) 酒井家次
(3) 徳川秀忠 (4) 結城秀康 〔正解 3〕

●解説

高崎城は、初代城主井伊直政の石高12万石に相応しい約5万1600坪(約17万平方メートル)の広さを有し、しかも三ノ丸は3万4800坪と全体の約6.7%を占める広大なものでありました。1600(慶長5)年9月の関ヶ原の戦いの時、徳川秀忠が3万人ともいわれる大軍を率いて高崎まで進軍したとき、烏川が連日の雨で増水し、高崎に三日間滞在を余儀なくされました。その大軍が三ノ丸と城下の寺院に逗留したと伝えられています。

問 1 8

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】が、念流の相伝を受け現在の吉井町馬庭に道場を開いたことから、その剣術流派は馬庭念流と呼ばれます。高崎城下で村上天流との試合を控え、必勝祈願のために参籠した際に、枇杷の木刀で割ったという伝説の「太刀割石」が【イ】の参道にあります。

- ア (1) 伊藤一刀斎 (2) 上泉伊勢守
(3) 塚原卜伝 (4) 樋口定次 〔正解 4〕

- イ (1) 倉賀野神社 (2) 小祝神社
(3) 高崎神社 (4) 山名八幡宮 [正解 4]

●解説

樋口家13代高重が馬庭に居を移し17代定次が念流八世を継承して以来、流派は「馬庭念流」と呼ばれる「自衛の剣」として地域の農民・町民に広まりました。

高崎城下で勢力を拡大していた村上天流との確執から、定次と天流が烏川原で対決することになったといひます。定次は武術の守護神として深く崇敬していた山名八幡宮に籠り、神の御宣託によって得た木剣で試合に臨むので勝利の証を示してほしいと祈願し、神前の大石に木剣を打ち下ろすと割れたといわれる「太刀割石」が山名八幡宮の参道にあります。

問 19

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

長野堰用水は高崎市本郷町に頭首工を設けて【ア】から取水し、高崎台地を灌漑しています。928(延長6)年に【イ】康業が開発に着手し、その子孫の箕輪城主【イ】業正(業政)が1551(天文20)年に長野堰を整備したといわれています。世界【ウ】遺産認定が見込まれています。

田畑灌漑、飲用水、生活用水だけでなく高崎城のお堀にも引水していたので、次第に水不足になり、1708(宝永5)年に高崎藩主松平(まつだいら)大河内(おおこうち)輝貞(てるさだ)は、【エ】から隧道(すいどう)を掘って引水をはかりましたが、すでに吾妻郡岡崎新田村へ引水していた岡上用水(おかのかみ)が余水はないと反対したために、幕府評定所で岡上用水に有利な裁決がくだされ、失敗しました。

1904(明治37)年に天神峠を開削して【エ】から加用水として引水しました。これも岡上用水の既得権に配慮しています。

- ア (1) 鎗川 (2) 烏川 (3) 神流川 (4) 利根川 [正解 2]

- イ (1) 足利 (2) 上杉 (3) 長尾 (4) 長野 [正解 4]

ウ (1) かんがい施設 (2) 複合 (3) 自然 (4) 文化
〔正解 1〕

エ (1) 赤城小沼 (2) 野尻湖 (3) 榛名湖 (4) 妙義湖
〔正解 3〕

●解説

烏川から引水する長野堰は10世紀に長野康業が群馬郡浜川（高崎市浜川町）にいたときに開削し、16世紀に箕輪城主長野業正（業政）が整備したので、長野氏の名前から長野堰と称したといえます。

広大な高崎台地を灌漑するには烏川からの取水だけでは十分ではないので、榛名湖の水を加用水として利用することを江戸時代から計画しました。高崎藩主松平（大河内）輝貞がするす岩の中腹を開削して取水することを計画しました。これに対して1707（宝永4）年10月、榛名湖水を取水する岡上用水を利用していた吾妻郡岡崎新田村（東吾妻町）が水利権を主張して反対しました。元和年間（17世紀初め）に幕府代官岡上景親が榛名湖水を沼尾川から取水する全長8キロメートルほどの岡上用水を開削していました。渡良瀬川から取水する新田郡笠懸野を灌漑する岡登用水を開削した岡上景能の父親（祖父ともいう）の代に、吾妻郡で榛名湖水を取水して岡上用水を開削していたのです。現地調査を経てくださった幕府評定所の裁決は余水の取水を認め、取水口の工事経費と維持管理費は11か村が負担し、工事には岡崎新田村が立ち会うことにしました。取水が許可されたので高崎藩はするす峠に隧道を掘って通水する計画に着手しましたが、工事は難航し、藩主大河内右京太夫輝貞は越後村上藩へ移封となり、工事は中断されました。途中で断念した洞穴は、「右京のなき穴」「右京の画餅堀」などと呼ばれています。

榛名湖水を加用水に利用することは明治になり実現しました。1901（明治34）年12月、するす峠の西の天神峠に隧道を掘って沼尾川に水門を設置し、榛名湖水を榛名川から長野堰に引き入れる工事の許可を、長野堰普通水利組合が県知事に出願しました。岡崎新田村は工事に反対し、1902（明治36）年7月に知事が沼尾川と天神峠下に水門を設置し、榛名湖の平水以上の余水を取水することを条件で許可しました。

翌1903（明治37）年10月に工事は竣工し、現在まで長野堰の加用水として利用しています。

問 20

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。



長野堰用水円筒分水堰

長野堰用水は多くの分水堰があったために、特に流末は水不足になり、水争いがたえず、分水堰の一つは地獄堰と名付けられ、水田経営に苦しんだことを示しています。1962（昭和37）年に江木町の城東小学校近くに上の写真の円筒分水堰を建設し、地獄堰・上中居堰・【 】・倉賀野堰の4水路に分流しました。サイフォンの原理を利用して水量を公平に分けており、水争いがなくなりました。

- (1) 新井堰 (2) 請地堰 (3) 貝沢浜尻堰 (4) 矢中堰

〔正解 4〕

●解説

長野堰用水は榛名町本郷地内に取水口を設け、高崎台地を南東へ約16キロメートル流れ、受益面積約1,700ヘクタールにおよび、江木町の円筒分水堰から地獄堰、上中居堰、矢中堰、倉賀野堰の4堰に分かれ、流末は烏川および井野川に流れ込んでいます。途中20余の分水堰を設けて各地に分水し、新井堰から高崎城の堀および城下町の用水に利用されました。

長野堰用水は、江戸時代には西新波堰、大堰とよばれました。1877（明治10）年ころ作成の『上野国郡村誌』には「長野堰（中略）五拾四村ノ用水トナル（中略）長野郷ニ属ス、堰名之レニ抛リシモノカ」（本郷村）とあり、長野郷の地名から長野堰と称したと推定しています。1881（明治14）年の「倉賀野誌」にも長野堰とあり、1882（明治15）年の土屋老平著『更正高崎旧事記』にも長野堰とあり、1889（明治22）年に長野村成立以前の明治初年には長野堰とっていました。1882（明治15）年に長野堰土功会を組織し長野堰を正式名称として維持管理し、1890（明治23）年に長野堰普通水利組合を組織し、1951（昭和26）年からは長野堰土地改良区が管理しています。

円筒分水堰は1962（昭和37）年にコンクリートで設備した円筒の中心にサイフォンの原理で導水し、円筒を越流させて正確に分水でき、昭和初年から各地に設けられ、長野堰では外円筒12.6メートル、内円筒8メートルの規模で、幹線水路の用水をこの分水堰に導入して倉賀野堰、矢中堰、上中居堰、地獄堰の4つの分水堰へ公平に分配されています。

問 2 1

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

高崎城下の盛況ぶりは「お江戸見たけりゃ高崎田町【 】」と詠われました。

- (1) 商人屋敷が建ち並ぶ
- (2) 往還通りは江戸まさり
- (3) 紺の暖簾^{のれん}がひらひらと
- (4) 二日と空けずに市が立つ

〔正解 3〕

●解説

高崎宿の田町は、商売物造酒屋、酢醤油屋、穀問屋、肴問屋などの店が立ち並び、「当国第一繁昌の太市」といわれる六斎市が開かれる町でした。また、高崎藩が田町に絹の売買を独占する特権を与え、そのため田町に集る西上州特産の絹類を買い求める諸国商人が集まる市場になりました。諸国から沢山の商人が紺のれんの下がる呉服店を訪れたので、「お江戸見たけりゃ高崎田町 紺の暖簾がひらひらと」の俗謡に謡われるほどでありました。

問 2 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎は城下町であると同時に宿場町でしたが本陣は無く、大名などの一行は板鼻宿か【 ア 】宿を利用しました。高崎城下の外である【 イ 】には、昼食や休憩のための施設として群馬県指定史跡の【 ウ 】がありました。

- ア (1) 岩鼻 (2) 倉賀野 (3) 新町 (4) 玉村

〔正解 2〕

- イ (1) 上豊岡 (2) 上佐野 (3) 五料 (4) 下和田

〔正解 1〕

- ウ (1) 間の宿^{あい} (2) 茶屋本陣 (3) 伝馬問屋 (4) 脇本陣

〔正解 2〕

●解説

高崎宿には宿場に在る本陣や脇本陣が在りませんでした（中山道69次の中で本陣の無い宿場は高崎と岩村田の2カ所だけ）。茶屋本陣は宿場と宿場の間に設けられ、大名や公卿などが休息した場所です。高崎城下を京都方面へ向かい烏川を渡って暫らく進んだ上豊岡村に、高崎宿と板鼻宿の間として設けられた茶屋本陣があります。主屋は18世紀中頃に建築されたと推定され、19世紀初頭に増築されたオザシキ部分は群馬県指定史跡になっています。

問 2 3

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

倉賀野宿は、中山道と日光例幣使道が分岐する宿場町として栄えました。現在この分岐点（下町交差点）には、阿弥陀堂（通称閻魔堂^{えんまどう}）が所在しています。そして近くには「従是右江戸道 左日光道」と刻まれた道しるべと、玉村の「高橋佳年女^{かね}」による書で、1814（文化11）年建立の常夜灯が保存されています（高崎市指定史跡）。

さて、この常夜灯には多くの寄進者が記されていますが、中には歌舞伎役者の市川団十郎や、力士の【 】の名を見ることができます。

- (1) 稲川政右衛門^{いながわまさえもん} (2) 双葉山定次^{ふたばやまさだじ}
(3) 雷電為右衛門^{らいでんためえもん} (4) 大鵬幸喜^{たいほうこうき}

〔正解 3〕

●解説

日光例幣使道とは、朝廷からの使者が、日光東照宮に詣でるための上野国と日光を結ぶ道のことです。その経路は、京都から中山道を経由して倉

賀野宿から分かれ、玉村・五料・柴・木崎・太田・八木・梁田・天明・犬伏・富田・栃木・合戦場・金崎までの13宿を通り（ここまでが例幣使道）、壬生通りの楡木から今市までの5宿を経て、さらに並木道を抜けて東照宮に至りました（通常帰路は江戸を経由）。

現在、倉賀野町の日光例幣使道と中山道の分岐点（下町交差点）には、阿弥陀堂（通称閻魔堂）が所在し、近接して道しるべと常夜灯が保存されています。常夜灯には正面（西）に「日光道」、左面（北）に「常夜燈」（原碑にはこのように記されている）、右面（南）に「中山道」とあり、台石には312人の寄進者の名が刻まれています。

なお江戸の戯作者・狂歌師の大田南畝^{なんぼ}は、『壬戌紀行』1802（享和2）年で「右江戸道 左日光道といふ石表あり」と記しており、現存の道しるべと一致します。そして、その12年後の1814（文化12）年に、常夜灯が建てられたこととなります。

問 2 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

中山道の【ア】と倉賀野宿の間を流れる烏川は川幅が45間（約81メートル）ほどあったため、旅人や荷物を船で渡す【イ】がありました。

ア （1）小野宿 （2）新町宿 （3）玉村宿 （4）中島宿
〔正解 2〕

イ （1）岩倉渡し （2）五料の船渡し
（3）角淵河船^{つのぶち} （4）柳瀬渡船^{やなせ}
〔正解 4〕

●解説

関東周辺の主要な河川は、江戸幕府の軍事・政治上の施策から架橋が抑えられ、通行は船や仮の橋によっていました。中山道高崎宿付近も、新町宿と倉賀野宿の間、高崎宿と板鼻宿の間には烏川が流れており、古くは徒歩で涉っていました。いつしか渡船となり「柳瀬渡船」と呼ばれるようになりました。江戸時代中期からは、上りを新町宿の船で、下りを倉賀野宿の船で旅人を渡すようになりました。

問 2 5

次の高崎市略図のなかのア～ウに適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。



ア (1) 旧倉渕村 (2) 旧群馬町 (3) 旧榛名町 (4) 旧箕郷町
〔正解 1〕

イ (1) 旧群馬町 (2) 旧新町 (3) 旧箕郷町 (4) 旧吉井町
〔正解 3〕

ウ (1) 旧倉渕村 (2) 旧新町 (3) 旧榛名町 (4) 旧吉井町
〔正解 2〕

●解説

平成の市町村合併により、2003（平成15）年12月に高崎地域任意合併協議会を設置し、住民説明会や住民アンケートの実施、法定合併協議会の設置など周辺町村との協議を進めた結果、2006（平成18）年1月23日に倉渕村・箕郷町・群馬町・新町と、同年10月1日に榛名町と、2009（平成21）年6月1日に吉井町と合併しました。北から旧倉渕村、旧榛名町、旧箕郷町、旧群馬町、旧高崎市、旧吉井町、ちょっと離れて旧新町です。それぞれの位置を地図で確認してみてください。

旧倉渕村では小栗上野介忠順の墓などが著名です。

旧新町のシンボルは、中山道宿場町、於菊稻荷、新町屑糸紡績所、自衛隊駐屯地などです。

問 26

次の説明文に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

ア 1582（天正10）年に織田信長の死後、滝川一益と後北条氏との間に関東地方最大といわれる神流川合戦がありました。

- (1) 旧群馬町 (2) 旧新町 (3) 旧箕郷町 (4) 旧吉井町
〔正解 2〕

イ 公家の鷹^{たかつかさ}司氏出身の松平^{まつだいらのぶのり}信謹が藩知事を辞任し、1869（明治2）年に全国に先駆けて藩を廃止しました。

- (1) 旧倉渕村 (2) 旧新町 (3) 旧榛名町 (4) 旧吉井町
〔正解 4〕

ウ 土屋文明が「村の名といへど百年たもたぬか なくなりてゆく群馬郡上郊村」となげきました。分村合併して消滅した上郊村のうち、中里、保渡田、井出の三大字が所属しました。

- (1) 旧倉渕村 (2) 旧群馬町 (3) 旧榛名町 (4) 旧箕郷町
〔正解 2〕

エ 道祖神の里として知られ、77か所に114基の道祖神があります。1727（享保12）年造立の双体道祖神をはじめ造形的にすぐれたものがあります。

- (1) 旧倉渕村 (2) 旧群馬町 (3) 旧新町 (4) 旧吉井町
〔正解 1〕

●解説

旧新町では、本能寺の変による織田信長殺害後の神流川合戦も有名です。1582（天正10）年6月16日から19日にかけて、信長に3カ月前に上野国支配を命じられた滝川一益と、小田原の北条氏直・北条氏邦が倉賀野方面から進軍して神流川周辺で争い、滝川が敗れました。北条勢5万の兵が上野に侵攻しましたが、一時は1万6,000の兵を擁する滝川勢が優勢でありました。激戦の末4,000人の兵が討ち死にし、滝川一益は敗れ倉賀野城を経て厩橋城に退却し、同夜、上州衆を箕輪城に集め別れの酒宴を開き、碓氷峠、小諸城、下諏訪、美濃、尾張清洲を経て伊勢長島に帰還しました。旧新町には北条方が戦死者を埋葬した首塚八幡宮、神流川橋ほとりに神流川古戦場跡の碑、焰魔堂脇に神流川戦死者供養塔などがあります。

旧吉井町では、多胡碑、牛伏山、馬庭念流、山種美術館を創立した山崎種二などが著名ですが、明治維新で全国の廃藩置県に先立ち吉井藩を廃したことも注目されます。藩主は五摂家の一つ鷹司家から分かれた松平家であり、徳川家光妻の弟の鷹司信平に7,000石が与えられ、子孫が吉井藩1万石の大名となり、待遇は国主格、御三家と同様であったといえます。最後の藩主松平信謹は松平姓から吉井姓に改め、戊辰戦争では新政府側につき利根郡戸倉に出兵し、会津軍と戦いました。1869(明治2)年に版籍奉還を諸藩に先駆けて行い、信謹は知藩事となりましたが、同年末に辞職し吉井藩は廃藩となりました。

旧群馬町には、上野国分寺跡、保渡田古墳群に設けられた上毛野はにわの里公園、三ツ寺遺跡などがありますが、万葉集研究を続けたアララギ派歌人土屋文明が著名です。土屋文明が居住した上郊村が1957(昭和32)年に群馬町と箕郷町とに分割されて消滅したことを嘆いた和歌が著名です。

旧倉渕村は、道祖神の里として知られています。双体道祖神が多く1625(寛永2)年造立の権田・熊久保の双体道祖神は、銘文があるものでは県内最古であり、1727(享保12)年造立の下夕村の双体道祖神など造形的にすぐれたものが多くあります。

問27

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

中核市とは、規模や能力が比較的大きい都市の事務権限を強化し、地域行政の充実を図ることを目的とした都市制度です。高崎市は、2011(平成23)年4月1日、中核市に移行しましたが、高崎市が中核市となったことで、県からの権限委譲により【 】を設置しました。

- | | |
|-------------|-----------------|
| (1) 高崎警察署 | (2) 高崎市総合福祉センター |
| (3) 高崎中央消防署 | (4) 高崎市保健所 |

〔正解 4〕

●解説

中核市の要件は、人口が30万人以上であることとされていますが、高崎市は、2006(平成18)年の2度の合併により、この要件を満たし、2011(平成23)年4月1日、中核市に移行しました。

中核市となって、2,400を超える事務が県から市に委譲されたことにより、事務の効率化が図られ、迅速できめ細かな行政サービスを提供できるようになったほか、特色ある独自のまちづくりが推進されています。

問 28

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市街地の西方に連なる岩野谷（^{いわのや}観音山）丘陵は、江戸時代中期に【ア】が再興された頃から、同寺の本尊である千手観音に因んで、石原・乗附地区の丘は観音山と呼ばれるようになりました。その様な事もあり、昭和時代になると観音山を靈山にすべく高崎田町で呉服商を営んでいた山田^{やまだ}徳蔵^{とくぞう}が私財を投じて【イ】を造りました。また、岩野谷丘陵が海底から隆起した歴史から、比較的良質な亜炭が産出され、戦後も乗附地区や【ウ】地区などに18の炭鉱がありました。

- ア （1）玉田寺 （2）清水寺 （3）慈眼寺 （4）大覚寺
〔正解 2〕
- イ （1）洞窟観音 （2）白衣観音
（3）平安観音 （4）靈山観音 〔正解 1〕
- ウ （1）奥平 （2）片岡 （3）寺尾 （4）山名
〔正解 3〕

●解説

808（大同3）年に坂上田村麻呂が京都清水寺から勧請したといわれる、岩野谷丘陵に建つ清水寺を高崎城主安藤重博が1671（寛文11）年に再興しました。以来、高崎住民が訪れる行楽地となり、辺りは本尊の千手観音に因み「観音山」と呼ばれるようになりました。この観音山を靈場として多くの人々が楽しめる観光地とすべく、田町の呉服商山田徳蔵が洞窟を掘削し、中に20数体の観音像を安置しました。新潟県柏崎から高崎に進出して成功した山田徳蔵が、30歳余で自力建設を発願し、私財を投じ半生期に亘って情熱を傾け出来たのが洞窟観音です。

観音山丘陵が海底から隆起した歴史から、比較的良質な亜炭が産出されました。亜炭は石炭の中で最も炭化度が低く発熱量の低いものを石炭と区別して呼ばれ、地質学上は褐炭に分類されます。戦前戦後を通して工業用、家庭用の燃料として使われました。戦後も高崎炭田の炭鉱数は18鉱山を数え、乗附地区では興亜など5炭鉱、寺尾地区では金井など5炭鉱が稼働していました。

問 2 9

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】年に開業した内務省勸業寮屑糸紡績所（新町屑糸紡績所）は屑繭や屑糸から絹紡糸を作るための官営工場でした。建物の屋根を支える骨組には柱の数を出来る限り少なくするため、富岡製糸場と同じ、西洋の技術を取り入れた【イ】が使われましたが、日本人が設計、施工を行った我が国最初の木造洋式工場でした。経費を節減するため、外壁は【ウ】としましたが、和釘を使い、軒先には木鼻^{きばな}という【エ】の技法が用いられるなど、我が国の在来の技術が生かされた建物でした。

2015（平成27）年、開業当時の様子を伝える施設と土地の一部が国指定重要文化財と国指定史跡になりました。

- ア （１）1868年（明治元年） （２）1877年（明治10年）
（３）1894年（明治27年） （４）1904年（明治37年）
〔正解 2〕
- イ （１）トラス構造 （２）垂木小屋組構造
（３）ラーメン構造 （４）壁式構造
〔正解 1〕
- ウ （１）レンガ積 （２）モルタル塗
（３）丸太組 （４）下見板張
〔正解 4〕
- エ （１）城郭建築 （２）寺社建築 （３）書院造 （４）寝殿造
〔正解 2〕

●解説

新町屑糸紡績所は内務省勸業寮管轄の屑糸紡績所として、1876（明治9）年2月に工場の建築が始まりました。西欧各国の紡績所を視察し、建築技術を学んだ佐々木長淳の指揮のもと、ウィーン万博で日本館建設に携わった山添喜三郎が設計に関わりました。

工場の建物は中庭を持つ凹字型に配置された木造平屋建で、外壁は下見板張とするなど、経費の節減を意図した設計とする一方で、柱と柱の間にはガラスの上下窓が取り付けられ、小屋組には富岡製糸場と同じトラス構造を用いられるなど、西洋建築の技術が随所に導入されていました。また、外壁の板を止めるために和釘を使用したり、軒先には寺社建築に見られる木鼻という装飾を施すなど、日本の在来の技術も生かされた建物でした。富岡製糸場の多くがフランス人技術者の手により建設されたのに対し、新町屑糸紡績所は日本人による最初の木造の近代洋式工場であったと言えます。

す。

翌1877（明治10）年6月に竣工しましたが、同年10月に举行された開業式典において、時の群馬県令楫取素彦は「飛薨雲ノ如ク烟突天ニ挿テ相望ム」と工場の威容を称し、紡績業の本格的稼動が「人智ノ開明此ニ至ル」と讃えました。

明治維新から10年。西南戦争の勃発で政情も混沌とする中での新町屑糸紡績所の開業は国家の威信を掛けた大事業であったことが分かります。

問30

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

大正時代、産業経済の発展と景気変動に対応するため、金融を強化することが図られました。これまでであった規模の小さい金融機関が合同し、大金融機関をつくることになったのです。1919（大正8）年、西群馬では高崎を中心とする【ア】が設立され、東群馬では前橋を中心とする群馬銀行（第一次）が設立されました。

昭和期になると、昭和恐慌の大不景気から抜け出すため、また銀行の合同が行われました。1932（昭和7）年、【ア】と群馬銀行（第一次）は合併し、群馬県金融株式会社を経て、【イ】が設立されました。

その後、【イ】は群馬銀行と名称を変え現在に至っています。

ア （1）上州銀行 （2）上毛貯蔵銀行
（3）上毛野銀行 （4）高崎積善銀行 [正解 1]

イ （1）群馬金融銀行 （2）県是銀行
（3）全群馬銀行 （4）群馬大同銀行 [正解 4]

●解説

高崎は商業の発達と交通の便から早くから金融機関が発達しました。明治の初期には、群馬県最初の銀行である第二国立銀行高崎支店が開業しています。明治の後半になると、高崎の人たちによって銀行がつくられていきました。高崎積善銀行・高崎銀行・倉賀野銀行などがそうです。

その後、産業経済の発展に対応するため、大資本力を持つ銀行の設立が望まれました。上州銀行はまさにこの要請にこたえたものでした。1919（大正8）年、高崎を中心として資本金150万円の上州銀行が設立されました。高崎積善銀行・高崎銀行・上毛貯蔵銀行は合同して上州銀行になりました。昭和になると昭和恐慌が襲います。高崎を中心とする上州銀行は、前橋を中

心とする群馬銀行(第一次)と合同します。県や国の指導によるものでした。
このときできたのが群馬大同銀行でした。群馬大同銀行は後に名称を変えて
群馬銀行となり現在にいたっています。

問 3 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれ
どれでしょうか。

大正から昭和時代にかけて次第に道路が整備され、自動車は道路交通の主
役になりました。群馬県で初めて運転免許証(自動車運転手鑑札)を取得し
たのが、高崎生まれの【ア】でした。【ア】は初め個人営業で乗合
バスを経営していましたが、事業を拡大し、群馬中央バスを経営するよう
になりました。

乗合バスの最盛期、幹線の高崎一前橋間は、群馬中央バスと【イ】に
よって運行され、沢山の乗客が利用しいつも混み合っていました。

その後、自家用車を持つ人が増えていったため、乗合バスの路線や運行回
数が激減してしまいました。そのため、現在では高崎地域の循環公共交通機
関として【ウ】が利用され、市民の大切な交通機関となっています。

- ア (1) 岩崎半之助 (2) 桜井伊兵衛
(3) 井上保三郎 (4) 竹腰徳蔵 [正解 1]

- イ (1) 東武バス (2) 上信バス
(3) 群馬バス (4) 関越バス [正解 3]

- ウ (1) クルリン (2) ぐるりん
(3) マイバス (4) くるバス [正解 2]

●解説

明治前期から使われていた馬車が次第に姿を消し、自動車は道路交通の主
役になっていくのは大正から昭和期になってからでした。道路状況も良くな
っていきました。

自動車は初め貨物輸送として使われました。続いて旅客輸送が盛んになっ
ていきます。旅客輸送で活躍する自動車は、乗合自動車と呼ばれ、のちに乗
合バスやバスと呼ばれるようになりました。

大正期から昭和初期の乗合バスは、中小の業者によって運営されていまし
たが、次第に統合され、群馬バス、群馬中央バス、上信バス、東武バス、国

鉄バスなどの大手の会社によって経営されるようになっていきました。

高崎駅は乗合バスの大きな発着地でした。各方面へのバスが定期的に運行し、多くの乗客が利用しました。昭和40年代頃までは、バスの利用が大変盛んでした。

その後、自家用車が使われるようになるとバス利用は急激に少なくなり、運行路線や運行数も減ってしまいました。それを補うため、現在では市内循環バスとして「ぐるりん」が活用されています。

問 3 2

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

明治期の【 】で日本軍の捕虜になった兵士が、戦争中に日本国内に移送されましたが、陸軍の連隊があった高崎にも収容されました。一方で、当時の高崎において外国人は珍しく、人々は捕虜である彼らを厚遇しました。新聞によれば、捕虜となった兵士は、比較的自由に過ごしたとされています。なおこのうち3人が高崎で病没しますが、彼らのお墓が市内若松町の龍広寺に残されています（高崎市指定史跡）。

- (1) アヘン戦争 (2) 西南戦争
(3) 日清戦争 (4) 日露戦争

〔正解 4〕

●解説

日露戦争の際には、多くのロシア人兵士が、捕虜として高崎に収容されました。その数は500人以上（全国で約7万2000人）で、市内の寺院（安国寺・恵徳寺・延養寺・長松寺・覚法寺・大信寺・大雲寺・向雲寺・興禅寺・龍広寺）と劇場・寄席（高盛座・藤守座・松田亭・共楽館）に分散され、6,000余の見物人が押しかけたと報じられています。そして「俘虜（捕虜）」らのあまりの不潔な姿に、市民は「憎悪」よりも「不憫」の感情を抱き、寄付や差し入れもみられたといえます。

その後、捕虜たちは観音山へ散歩をしたり、三味線の稽古や、羽織袴を着て写真館で撮影をするなど比較的自由に過ごし、1905（明治38）年9月の日露講和条約（ポーツマス条約）後は、矢島八郎初代高崎市長や同市会議員、市民有志、軍人が出席して、捕虜達の送別会が催されました。

一方で、龍広寺（傷病者を受け入れ）に収容されていたサムプソン、ステパン、ニコライの3人の青年が、看護のかいなく亡くなっています。3基の墓碑には、十字架にロシア語と日本語で氏名や所属などが刻まれ、陸軍墓地に埋葬されました。しかし太平洋戦争中に破壊される恐れから、一旦地下に埋めて隠され、1976（昭和51）年、日露親善協会高崎支部によって修復さ

れました。現在、「元ロシア人兵士之墓」は、若松町龍広寺に所在しています（市指定史跡）。

問 3 3 次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎公園は高崎城主の祈願寺があった跡で、【ア】が良善寺の境内に植えたものと伝えられる【イ】は、群馬県指定天然記念物になりました。

- ア (1) 安藤重信 (2) 井伊直政
(3) 間部詮房 (4) 和田義信 [正解 1]

- イ (1) イチョウ (2) カヤ
(3) ケヤキ (4) ハクモクレン [正解 4]

●解説

高崎城址の南側に隣接する高崎公園は、高崎城主の祈願寺があった所です。

城主が大河内松平氏時代は大染寺がありましたが、明治になり廃寺となりました。その前の安藤氏時代は重信が建立した良善寺があり、その時に植えたと伝えられるハクモクレンは群馬県指定天然記念物になりました。これに因んでハクモクレンはサクラと共に「高崎市の花」に選ばれています。

問 3 4 次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

第一次大戦後の不況で蚕糸業が不振となり、群馬県内では農業振興施策として【ア】の生産が拡大されました。またこの頃、製麺業が大きく発展し、高崎市内でも数多くの工場が操業し【ア】の生産需要が増えました。

井上保三郎ら高崎の実業家は【ア】を原料とした【イ】を計画し、1919（大正8）年、高崎駅北側の弓町で創業しました。また同年、高崎駅南の下和田町にも【イ】が創業し、高崎駅をはさんで南北に2つの大工場が高崎の産業を発展させました。この2つの工場には、高崎駅から線路が

引き込まれ、鉄道による輸送力が生かされました。

現在、高崎市は、下和田町の工場跡地で【 ウ 】の建設を進めており、来年春にオープンする予定です。

ア (1) 小麦 (2) 米 (3) そば (4) 大豆

〔正解 1〕

イ (1) 酒造工場 (2) 醤油工場
(3) 製紙工場 (4) 製粉工場

〔正解 4〕

ウ (1) コンベンション施設 (2) 上信電鉄の新駅
(3) 高崎アリーナ（新体育館） (4) 中央公民館

〔正解 3〕

●解説

群馬県の小麦の作付面積は5,429ヘクタールで全国6位（農業センサス2015）となっており、群馬県は国内有数の小麦産地です。

大正時代になると、高崎が交通の要衝であり、高崎や周辺から小麦を集荷し、製品を流通させるのに適していることから、産業界に製粉業を興す機運が高まり、1918（大正7）年に井上保三郎らが上毛製粉を設立しました。翌8年に館林発祥の日清製粉と合併し、弓町に日清製粉高崎工場を建設し、9年に操業を開始しました。

下和田町にも東洋製粉の工場が1919（大正8）年に建設され、1920（大正9）年に日本製粉高崎工場となりました。

その後、日本製粉高崎工場はニッポン冷食高崎工場となりましたが、2012（平成24）年に操業を停止しました。同地には現在、高崎アリーナが建設されていて、来年春に開館する予定です。

問35

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1935（昭和10）年8月は雨天の日が多く、冷涼でしたが、9月になっても雨が降り続いたことから、河川は例年になく増水していました。さらに、台風の影響により、25日午前10時頃から猛烈な風雨となり、夜になっても豪雨は止まず、26日午前2時頃には【ア】付近の烏川左岸の堤防が決壊し始め、濁流が歌川町より赤坂町、常盤町へと流れ込みました。また、碓氷川堤防も決壊し、乗附町や片岡町などにあった民家に泥水が押し寄せました。この大水害によって、多くの民家が流失、浸水などの被害をうけたほか、振

武橋、千代橋、八千代橋も流されてしまいました。

市役所は26日朝より、常仙寺で炊き出しを行うとともに、高崎高等実践女学校の校舎に罹災者を収容するなどの対応を図りました。また、救援活動に出動した【 イ 】の7人が濁流に吞まれ、犠牲になりましたが、これを悼んで、「七士殉職供養塔」が【 ウ 】脇に建立されました。

ア (1) 千代橋 (2) 君が代橋 (3) 聖石橋 (4) 一本松橋
〔正解 2〕

イ (1) 高崎歩兵第十五連隊 (2) 高崎警察署
(3) 高崎市消防団 (4) 高崎市青年団
〔正解 1〕

ウ (1) 中央小学校 (2) 塚沢中学校
(3) 寺尾中学校 (4) 片岡小学校
〔正解 4〕

●解説

1935(昭和10)年8月は雨天の日が多く冷涼な天気が続いていましたが、9月になってもこの雨は降り続き、河川は例年になく増水していました。これに追い討ちをかけたのが台風の襲来で、台風とこれに刺激された前線が10日間にわたって豪雨をもたらしました。

9月25日の雨量が309ミリメートルを超えた旧倉渕村では烏川が氾濫したほか、山の近くでは緩んだ崖が崩れ、家屋が押しつぶされるなどして4人が亡くなりました。降り続く雨に碓氷川の支流九十九川流域では大規模な山崩れが発生し、83人の死者を出す大惨事となりましたが、烏川と碓氷川はその後も増水し、とうとう26日午前2時頃、君が代橋近くの烏川左岸が決壊し、歌川町から赤坂町、常盤町へと濁流が流れ込みました。碓氷川も乗附練兵場付近の堤防が決壊し、田畑、桑畑を呑み込みながら、1,500戸を超える家屋が流失、全壊、床上・床下浸水するなどの甚大な被害をこうむりました。

この時、救援のため石原方面に向かっていた歩兵十五連隊兵士10名を突如濁流が押し流し、このうち神沢伍長以下7名が亡くなりました。いずれも二十代前半の若い兵士たちでした。これを悼んだ人々は殉難地に近い片岡小学校の脇に、高崎市民一同の名前で「七士殉職供養塔」を建立し、厚く供養をしました。

また、高崎航空普及会は所有する「高崎号」と命名された飛行機をいち早く出動させ、空の上から利根川、烏川、碓氷川、吾妻川流域の被害状況を調査するとともに救援活動にあたらせました。

問36

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】はチェコ出身の建築家アントニン・レーモンドが設計し、1961(昭和36)年に高崎城址に竣工しました。群馬交響楽団の本拠地でもあります。最大スパン60メートルの鉄筋コンクリート折板構造で、内部は地下1階・地上2階で構成されています。1999(平成11)年に近代建築の記録と保存を目的とする国際学術組織のDOCOMOMO Japanが選定する「日本の近代建築20選」に選ばれ、木と石の自然物を素材とする伝統的建築から、鉄筋コンクリートとガラスの工芸物によるモダニズム建築の日本代表のひとつとされ、文化財としての価値が注目されています。

しかし、残響時間が短いなど、音質面の厳しい評価があり、舞台、座席、ロビーの狭隘により、本格的なコンサートや舞台公演の利用が低いなどの課題があり、【イ】(仮称)の建設が進められています。

- ア (1) 高松音楽センター (2) 群馬音楽センター
(3) 高崎音楽センター (4) 高崎文化芸術センター

〔正解 2〕

- イ (1) 群馬音楽センター (2) 高崎音楽センター
(3) 群馬文化芸術センター (4) 高崎文化芸術センター

〔正解 4〕

●解説

群馬音楽センターは、帝国ホテルなどを設計したフランク・ロイド・ライトの弟子のチェコ出身アメリカ人の建築家アントニン・レーモンド(1888～1976年)が設計した代表作品です。2階ロビーのフレスコ画(壁画)や、ひき割り緞帳の下絵もレーモンドが描いています。レーモンドギャラリーが音楽センターに設置しており、緞帳下絵、音楽センター案模型、高崎哲学堂模型などが展示してあります。レーモンドは井上房一郎邸、東京女子大学、同礼拝堂・同講堂、ソビエト大使館、フランス大使館、アメリカ大使館など日本で多くの建築を手がけました。

1999(平成11)年にDOCOMOMO Japanにより「日本の近代建築20選」に選定され、日本のモダニズム建築の代表といわれます。1961(昭和36)年に高崎城址に開館し、さまざまなコンサートや歌舞伎・能や伝統芸能の上演がおこなわれています。群馬交響楽団の本拠地でもあります。鉄筋コンクリート折板構造の特徴的な外観をもち、内部は地下1階、地上2階があり、ホールの収容人員は1,932人です。市の予算2億円と市民の寄付1億円の合計3億円で建設し、市民の協力のもとに完成しました。「昭和三十六年ときの高崎市民之を建つ」という石碑が前庭に建てられています。

しかし、改修を重ねるたびに、残響時間が短くなり、座席が狭いなど、厳しい評

価があり、本格的なコンサートや舞台公演の利用が低いなどの課題があり、高崎駅東に2018(平成30)年開館を目指して高崎文化芸術センター(仮称)の建設が始まっています。収容人員2,000人のメイン音楽ホール、同400人の小音楽ホール、多様な創造活動の発表場所や練習などスタジオの3つの施設から構成する計画です。

問 3 7

群馬県立日本絹^{にっぽん}の里に関する次の文章のうち、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 日本絹の里は、繭や生糸に関する資料や絹製品などの展示のほか、養蚕の歴史や蚕の生態などを知ることができる施設です。
- (2) 高崎にある日本絹の里は、日本に3つある日本絹の里の1つです。
- (3) 日本絹の里は、群馬の絹産業遺産を世界遺産にするという目的を第一にしてつくられました。
- (4) 日本絹の里は、高崎市箕郷町東明屋にあります。

〔正解 1〕

●解説

日本絹の里は、長い間伝統産業として群馬県の産業・文化を支えてきた実績を踏まえ、養蚕・製糸・織物業の振興と発展に寄与するため、群馬県立日本絹の里として設立されました。

日本絹の里は高崎市金古町にあります。建物は、天窗(空気抜き)のある養蚕農家をモデルにしてつくられています。内部は繭・生糸・織物の展示や養蚕の歴史・蚕の生態などを知ることができるようになっています。周辺には桑畑が広がり、近くに蚕の人工飼料などをつくっているところがあります。

日本絹の里では、時々蚕糸絹業に関する特別展が開かれます。また、繭クラフトや手織り、染色なども体験できます。絹製品を販売するシルクショップがあり、絹製品が手に入ります。

問 38

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市では、飲み水は利根川、烏川や鐺川などの河川の水やわき水、地下水を利用するなど、合併後も地域毎に作られ、供給されています。

この中で、若田町にある若田浄水場は市内で最も大きい浄水場で、一日約3万5000立方メートルの水を送り出しています。ここでは薬品を使わず、ゆっくりとした速度でろ過する【ア】方式という方法で、水を浄化しています。また、正観寺町にある正観寺配水場は2001（平成13）年に完成した関東地方で【イ】大きい貯水施設で、毎日、市民の2割強にあたる【ウ】分の飲み水を供給しています。この水は【エ】から引き込んだ県央第一水道から送られてきた水で、地震などの時でも高崎市民が3、4日間生活できるだけの水を蓄えておくことができます。

ア （1）粉末活性炭ろ過 （2）緩速ろ過
（3）マンガン接触ろ過 （4）急速ろ過 [正解 2]

イ （1）最も （2）2番目に （3）3番目に （4）4番目に
[正解 1]

ウ （1）2万人 （2）4万人 （3）6万人 （4）8万人
[正解 4]

エ （1）群馬用水 （2）長野堰用水
（3）滝川用水 （4）天狗岩堰用水 [正解 1]

●解説

飲み水は合併後も今までどおり、それぞれの地域で作られています。地下水や湧き水を利用するほか、川の水を引き込んで飲み水を作っていますが、その中で市内最大規模を誇るのが1964（昭和39）年に完成した若田浄水場です。ここでは高崎市上里見町の春日堰から取り入れた烏川の水を延長6.5キロメートルの導水管で浄水場へ運び、薬品等を使わずに砂の層で濾して汚れを取り除き、砂層の表面の微生物膜によって水を浄化しています。これを「緩速ろ過方式」と言いますが、この工程を約20時間かけてゆっくり行うため、良質でおいしい水を作ることができます。また、高台にあることから高低差を利用した配水ができるため、ポンプを回すための動力費がほとんどかからず、安いコストでの提供を可能にしています。

正観寺配水場は2基の配水塔からなる関東最大の貯水施設で、飲み水の安定供給と災害等緊急時の備蓄用水の確保を目的として建設されました。県企業局が経営する県央第一水道は榛東村で群馬用水（利根川）の水を引き込み、1日最大16万立方メートルの飲み水を作っていますが、こうして作

られた水は高崎市だけでなく、前橋市、榛東村、吉岡町へも送られています。なお、正観寺配水場の水は若田浄水場に設置された集中監視システムにより、コンピュータ管理されています。

問 3 9 次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

内村鑑三は高崎藩の江戸小石川の武士長屋に生れましたが、父親が高崎へ戻されたため幼少期を高崎城下北曲輪（現柳川町）で過ごしました。烏川で遊ぶことが楽しみであったことから、生誕100年記念碑【ア】が烏川を望む【イ】に建てられました。高崎英学校などで英語を学び得意としたこともあり、1894（明治27）年に刊行された『日本及日本人』は初めから英文で上梓され、その後『代表的日本人』として改訂された先駆的名著と言えます。

ア （1）「至誠依神」 （2）「上州人」
（3）「上州の夏」 （4）「高崎城所感」 [正解 2]

イ （1）聖石橋東詰 （2）高崎公園
（3）頼政神社 （4）龍広寺 [正解 3]

●解説

日本を代表するキリスト教思想家・伝道者・聖書研究者の内村鑑三は、高崎藩士内村宜之の長男として江戸小石川にあった高崎藩中屋敷の武士長屋で生れ、父が高崎へ異動になると現在の柳川町で幼少期を過ごしました。生誕100年の記念碑「上州人」の建立場所として頼政神社境内が選ばれたのも、烏川での魚とりを楽しみにしたエピソードによります。数多くの業績の中でも、1894（明治27）年に刊行された『日本及び日本人』（後日『代表的日本人』と改訂）は、新渡戸稲造の『武士道』と共に初めから英文で上梓された先駆的名著です。

問 40

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎の町は、人口や産業経済の要件を整えて、1900（明治33年）に市制を施行しました。このとき初代の高崎市長になったのが【 ア 】でした。

これより先、今の高崎線が開通する時、【 ア 】は旧下和田村にあった自分の土地を、高崎駅の用地として寄付し、施設の建設に尽力しました。その後高崎の市街が拡大し、駅のある町名を決めるとき、多くの人が彼の功績をたたえるため、彼の姓（苗字）を採ろうとしましたが、彼はかたく辞退しました。そのため高崎駅がある町名は【 イ 】となり、現在に至っています。

- ア (1) 小島弥平 (2) 中島伊平
(3) 楫取素彦 (4) 矢島八郎
- 〔正解 4〕

- イ (1) 旭町 (2) 八島町 (3) 矢島町 (4) 鶴見町
〔正解 2〕

●解説

高崎の市制施行は、人口が25,000人を超えていた1894（明治27）年の町会で建議され、準備にとりかかりましたが、日清戦争が始まったことによって市制施行の動きは中止となりました。市制施行が成し遂げられたのは1900（明治33）年4月1日でした。初代の市長になったのは、初代の町長であった矢島八郎でした。

矢島八郎の家は、高崎宿新町（あらまち）で伝馬年寄役をしていました。早く亡くなった父が「御伝馬事件」に連座したため、家業は不振でした。少年時代には、母を助け孝養を尽くし表彰されるという孝行息子でした。

彼は中牛馬会社（運送会社）を経営して頭取になりました。郵便馬車も走らせて社会のために尽くしました。

高崎・上野間に鉄道が開通するとき、矢島八郎は持っていた旧下和田村の土地を、高崎駅の用地として寄付しました。後に、駅のある町名を決めるとき、多くの人は「矢島町」と名付けようとしたましたが、矢島八郎は固く断りました。そのため末広がりをも意味する「八島町」となったということです。

矢島八郎は県会議員、初代の町長、衆議院議員にもなっています。

問4 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

都市計画と集合住宅で著名な建築家であったブルーノ・タウト（1880～1938）は、故国ドイツのナチスから逃れて1933（昭和8）年に日本にやってきました。故国ドイツで設計し現在も使われている4カ所の集合住宅（日本では団地）は、2008（平成20）年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。

タウトは約3年半日本に滞在し、そのうち【ア】は高崎の少林山達磨寺の境内にある【イ】で暮らしました。

タウトは日本滞在中、日本文化に関する多くの著書を残し、中でも【ウ】、伊勢神宮等に対する評価は日本人に多くの影響を与えることになります。

高崎では、家具の設計をはじめ、竹や和紙を使った工芸品を制作し、工芸運動の指導に携わりました。

ア （1）3カ月 （2）1年3カ月
（3）2年3カ月 （4）3年3カ月 [正解 3]

イ （1）碓氷亭 （2）洗心亭 （3）晴月亭 （4）名月亭
[正解 2]

ウ （1）桂離宮 （2）浜離宮 （3）名古屋城 （4）姫路城
[正解 1]

●解説

第一次大戦後のドイツでは、労働者層の都市への集中により新しい暮らしの場が必要となり、新たな都市計画と大量の集合住宅が必要となりました。

ユネスコは「ベルリンの近代集合住宅群」6件に登録しましたが、そのうち4件がタウトの設計によるものです。これらは、それ自体の建築物としての評価はもとより、後に世界の集合住宅の様式に影響を及ぼした点が評価されました。日本ではほぼ同時期に同潤会アパートなど集合住宅を建設し、現在残っていませんが、ドイツの「世界文化遺産集合住宅」は現在も使用されています。

高崎でのタウトは建築の仕事は残せませんでしたが、『日本文化私観』『にっぽん』（講談社学術文庫）『日本美の再発見』（岩波新書）など多くの著書を残しました。少林山達磨寺境内には洗心亭と「私は日本の文化を愛す」とドイツ語で書かれた記念碑があります。

問 4 2

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

大正の中頃、国府村の飯塚鉄太郎らによって、西洋系の長にんじんをもとに品種改良されたのが【 】です。根の部分が60～70センチメートルで、葉を入れると1メートル以上の長さになり、色がよく甘みがあって香りも強い煮くずれしにくいので、きんぴらに最適です。1951（昭和26）年が生産量のピークでしたが、短寸の西洋にんじんが広がり、冷蔵庫に入らない大ぶりにんじんは敬遠されていきました。

- (1) あかねにんじん (2) 金時にんじん
(3) 国分にんじん (4) 五寸にんじん

〔正解 3〕

●解説

大正の中頃、国府村西国分の飯塚鉄太郎らによって、フランス系の長人参をもとに品種改良され、根長が60～80センチにもなり、生産地の地名から国分にんじんとよびました。色がよく甘みがあって香りもあり、煮くずれしにくいので煮物やきんぴら、和えものなど加熱する和食料理に向くと評価されています。

しかし、短根人参が冷蔵庫に収納できることもあって1960年ころから広まり、国分にんじんは収穫に時間がかかることなどの理由で生産者が激減しました。近年、消費者からおいしい人参を絶やすなという要望もあり、国府地区で国分にんじん復活の取り組みがはじめられています。地産地消をめざして国分にんじん、国府白菜など地元野菜と、高崎産の絹の波という小麦粉を使ったすいとんやおすすめのきんぴらなど、あらたなメニューを開発して普及に努めています。

- (1) あかねにんじんは濃鮮紅色が特徴な短根の西洋系の品種です。
(2) 金時にんじんは京人参ともよばれる東洋系の品種です。
(4) 五寸にんじんは五寸（15センチメートルほど）の西洋系の短根人参です。国分にんじんと同様の太長の品種とすると熊本伝統野菜の熊本人参があります。

問 4 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

今年ハリオデジャネイロ・オリンピックが開かれ、日本選手の活躍が注目を集めました。これまでのオリンピックで高崎市（旧滝川村）出身の相原信行は、体操競技で金メダルを2個、銀メダルを2個獲得しました。1956

(昭和31)年、【 ア 】オリンピックに出場し、団体と徒手で銀メダルを獲得しました。個人総合5位・平行棒6位・吊り輪5位でした。1960(昭和35)年、【 イ 】オリンピックにも出場し、団体と徒手で金メダルを獲得しました。平行棒4位・吊り輪5位でした。妻の相原(旧姓白須)俊子は1964(昭和39)年の【 ウ 】オリンピックに出場し、女子体操団体の銅メダルを獲得しました。

ア (1) グルノーブル (2) 東京
(3) メルボルン (4) ローマ [正解 3]

イ (1) グルノーブル (2) 東京
(3) メルボルン (4) ローマ [正解 4]

ウ (1) グルノーブル (2) 東京
(3) メルボルン (4) ローマ [正解 2]

●解説

相原信行(1934～2013年)は群馬郡滝川村(現高崎市)出身の体操選手。県立高崎工業高等学校、日本体育大学体育学部卒業。1956(昭和31)年、メルボルンオリンピック出場。相原信行・小野喬・久保田正躬・河野昭・竹本正男・塚脇伸作による団体に銀メダル、徒手(ゆか)個人で銀メダルを獲得しました。個人総合5位・平行棒6位・吊り輪5位にも入賞しました。小野喬が鉄棒で金メダルを獲得しました。

1960(昭和35)年、ローマオリンピックに出場し、相原信行・遠藤幸雄・小野喬・竹本正男・鶴見修治・三栗崇による団体に金メダル、徒手で相原は金メダルを獲得しました。そのほか平行棒4位・吊り輪5位にも入賞しました。小野喬が跳馬と鉄棒で金メダルを獲得し「鬼に金棒」をもじって「小野に鉄棒」と讃えられました。相原はその後は足利工業大学、上武大学教授を歴任、相原体操クラブ設立。妻の相原(旧姓白須)俊子は1964(昭和39)年の東京オリンピックに出場し、女子体操団体に銅メダルを獲得しました。

問 4 4

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

庚申信仰は、十干十二支の暦のうち「庚申」の日の夜に、「三戸」という虫が体内から出て、天帝に日常の罪を告げ口するため、短命になるというものです。これを避けるため、庚申の日に人々が徹夜で飲食をともにする風習が生れ、江戸期には全国各地に「庚申塔」が建てられました。

さて、市内倉渕町川浦地区の浅間神社には、1794（寛政6）年建立の【 】が残されています（高崎市指定重要有形民俗文化財）。これは1面に25体の青面金剛像が4面に彫られた（計100体）大変珍しいものです。

- (1) 一石百庚申 (2) 庚申塚
(3) 千部供養塔 (4) 双体道祖神

〔正解 1〕

●解説

中国の神仙思想をまとめた『抱朴子』(4世紀はじめ)によれば、人間の体内にいる「三尸」は、庚申の日ごとに人間の犯した罪を、天にのぼって告げ口するといわれます。このことから、早死にを避けて長生きをするための方法として、庚申の晩に徹夜をする習俗が生まれ、道教に取り入れられたとされます。

江戸時代には、庚申信仰は庶民にも広まりました。人々は庚申講を結び、庚申の晩に集って飲食歓談をともにして、全国各地に庚申（供養）塔が建てられるようになります。その形状は石宮型、多層塔型、角柱型などがありますが、仏教の影響を受けた三猿や青面金剛像が彫られたものや、神道由来の猿田彦の文字が刻まれたものなど、多種多様のものが派生しました。

また「百庚申」は、庚申塔をおよそ100基建てるというもので、中には1基に100の庚申の文字を刻む「一石百庚申」というものがあります。浅間神社（川浦地区）にある1つの庚申塔に青面金剛像を100体彫る「一石百庚申」は大変珍しく、貴重なものです。

問45

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1999（平成11）年、自主流通米制度が発足し、米が自由販売になると味の良し悪しが販売に影響するようになり、産地間競争が激化してきました。

倉渕地域では、清らかで冷たい山あいのおいしい米がとれますが、昔ながらの【ア】によりさらに旨みの増した【イ】を出荷しています。【イ】は【ア】によりミネラルが増し、冷めても食感がいいという特徴があります。しかし、手間ひまがかかり、収穫量が少ないことから、供給量が限られていて、なかなか手に入りにくい状況にあります。

- ア (1) 牛肥 (2) 天日干し (3) 粃すり (4) 冷温貯蔵
〔正解 2〕
- イ (1) くらぶち米 (2) おいで米
(3) みずぬま米 (4) はんでえ米
〔正解 4〕

●解説

倉渚地域では戦後水田・養蚕・畜産を中心とした農業が営まれてきましたが、国の農業政策の転換により適地適作農業が推奨されるようになると、夏秋きゅうり・トマト・みょうがの栽培が進められるようになりました。これらは1960（昭和35）年に県の特産地指定を受け、国・県の助成を受けて栽培面積が広がりました。また、特用作物として、こんにゃく・しいたけの栽培が奨励されたほか、酪農が県の集約酪農地域の指定を受けるなど、特産物の生産に重点を置いた農業が展開されるようになりました。その結果、1965（昭和40）年には農産物の生産額は畜産が一位となり、以下、米・野菜・こんにゃくと続くなど、以前の農業と比べ大きな変化が見られるようになりました。

米作は戦後の食糧不足解消のための方策として重点化が図られ、用水路を新設して畑地を水田に転換したり、栽培技術の向上や化学肥料を使用するなどして生産量を着実に伸ばしてきましたが、昭和30年代になると一転して収穫高、作付面積ともに年々減少するようになりました。食生活の変化は米の余剰につながるなど、米作を巡る環境は一段と厳しさを増してきました。

1984（昭和59）年の多用途米制度から1999（平成11）年の自主流通米制度へと米を巡る国の方針が大きく変わる中、倉渚地域では、はんでと呼ばれる稲掛けで天日干しされ、自然乾燥された「はんでえ米」の販売促進に努めています。清らかで冷たい山あい水と昼・夜の寒暖差の中で生産される倉渚産コシヒカリは天日干しによってさらにミネラルが増し、冷めてもおいしいという特徴があります。手間隙のかかる「はんでえ米」は収穫量も限られることから、味の良さと相まって今ではなかなか手に入りにくい状況にあります。

問 4 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」は、生産者と消費者の結びつきを強化するほか、地場農産物の消費を拡大し、地域の農業と関連産業の活性化にも繋がることから、現在、国を挙げての取り組みが図られて

います。

高崎市の学校給食では、高崎市で生産が盛んな【 ア 】をふんだんに使った中華丼の「たかさき丼」や高崎産の小麦「きぬの波」で作られた【 イ 】を使った麺料理「もてなうどん」などの献立を提供して、地産地消を推進しています。

ア (1) キュウリ (2) ゴボウ
(3) チンゲンサイ (4) トマト [正解 3]

イ (1) 観音うどん (2) 上州うどん
(3) 高崎うどん (4) だるまうどん [正解 3]

●解説

高崎市は、合併により37万人都市となると同時に、多彩な農作物を供給する一大産地としての面も持つようになり、「産地」であると同時に「消費地」でもあるという「産」と「消」が一体となった都市になりました。「地産地消」を推進することは、高崎市の農業自然を守り、伝統文化を維持継承していくという意味でも重要なことであり、このため、高崎市の学校給食では、地場産農作物の活用の拡大に努め、地場産野菜を使った「たかさき丼」や「もてなうどん」などの献立を提供しています。